

# みんなのBOUSAI!! IN神戸・発表資料 地域社会とNPOの役割分担

松田曜子・NPO法人レスキューストックヤード理事  
・関西学院大学災害復興制度研究所准教授

## レスキューストックヤード:活動の4本柱



## 名古屋の事例から

- 名古屋市で活動する防災ボランティアに対するインタビュー  
(2009年名古屋都市センター特別研究)

### なごや防災ボラネット

- 名古屋市内各區で、災害に強いまちづくりと被災者支援の活動を行う災害ボランティアで構成されるネットワーク組織
- 月例の連絡会で、行政や専門家を迎えた勉強会、各種啓発イベント等の連絡調整を実施し、昵懇の関係を築く

## (事例) 家具てんぼう隊 / 守山区

- 2005年より区内の耐震留具取付サービス事業を同区社協より受託、ボランティアで実施
- 家具留め技術は建築士の任意団体「わがやネット」に学ぶ
- 新たな取り組み「おしゃべり隊」



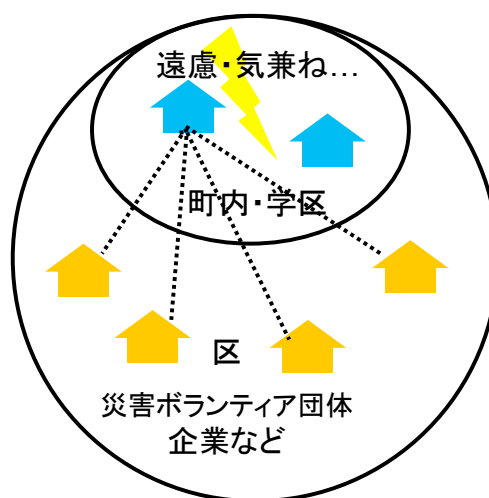
## 2011年台風12号災害被災地向け資器材の搬出@名古屋市建設会社



通常時のメンテナンス

## 既存の地域社会にとられない「近助」のモデル

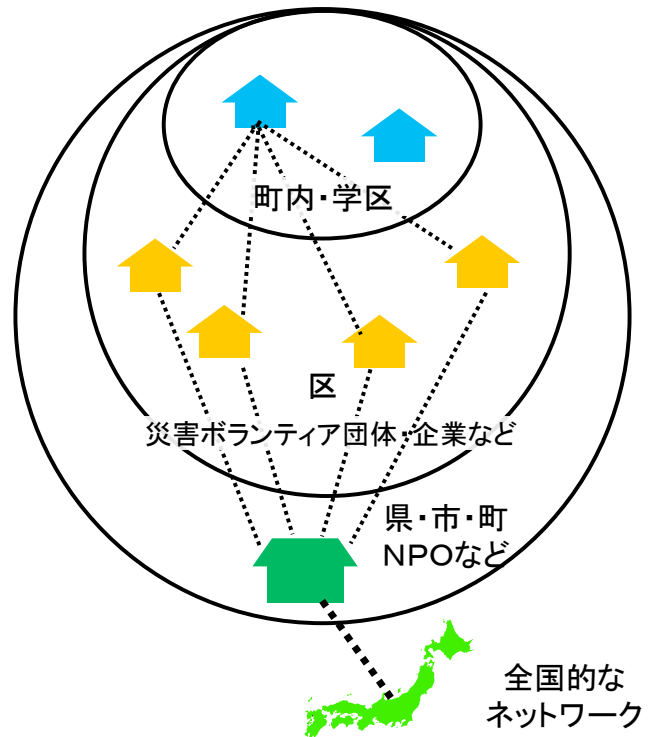
- 地縁団体ではない、程よく近所のボランティア団体  
「自治会や職場の振興会のように、自分もそこに入って助け合うようなものではなく、守山という近所に住んでいる助け合いの団体。だから、近所の電気屋さんに頼むのと同じように、困りごとを頼めるんじゃないか...」
- 弱い絆の強み＋お節介
- 近助 (山田厚志／名古屋建設業協会会長)



既存の地域社会にとられない組織がセーフティネットに。

## より多層的な「共助」のモデル

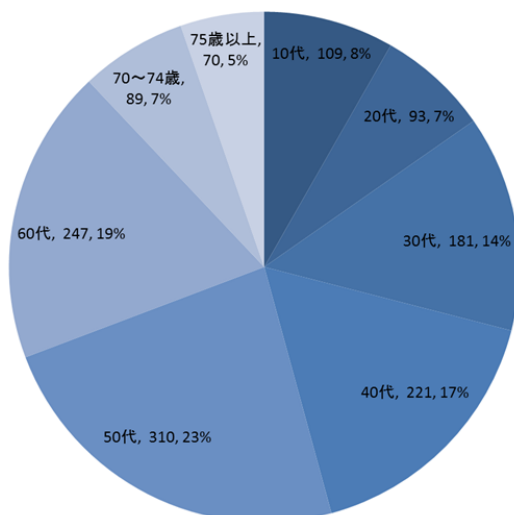
- NPO＝テーマ型の市民団体
- 全国的なネットワークとの仲介が可能
  - 例：ROADプロジェクト足湯ボランティア



## 現在の地域防災活動の限界



平成18年国民生活調査 年齢別・ボランティア活動の種類別・行動者数  
「災害に関係した活動」



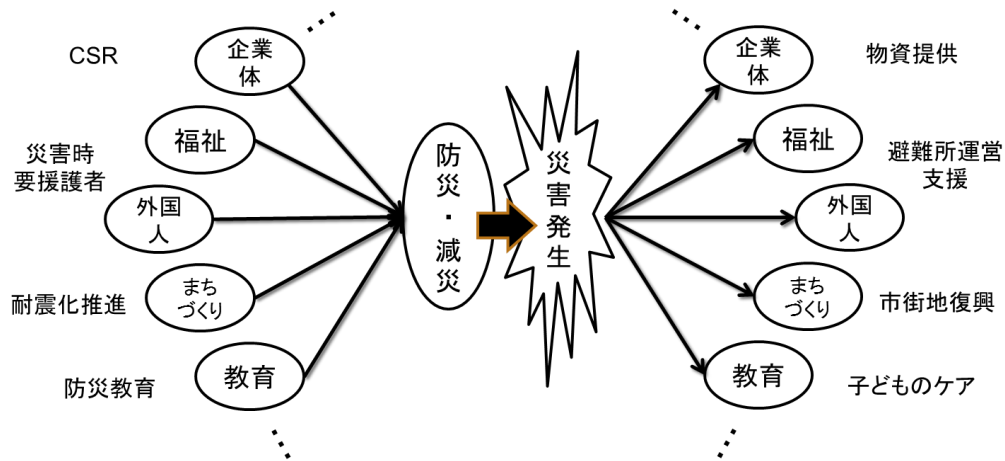
- マイホームがあり、子育てを終え、ご近所がいる人に向けた防災

土地への愛着  
人とのつながり



現在の防災活動の  
原動力  
それがいない人は蚊帳の外  
「参加」からの排除？

# 防災・減災は目標でありきっかけ



- ボランティアだからこそ可能な分野の融合
- 得意分野から、みんながアプローチ